

(9) 赤穂市議会からの意見（2020年（令和2年）3月30日提出）

これまでの赤穂市総合計画においては、人口の増加または維持を前提としており、その中で政策を定め施策を展開することで行政運営を図り、総合計画に掲げるまちづくりの実現を図ってきたところである。

わが国における人口減少・少子高齢化の進展に伴い、今回策定する2021年(令和3年)から10年間の本市のまちづくりは、初めて人口減少を前提とすることとなり、さらに近年多発する大規模災害や急速に変化する社会情勢や制度の改正などに対し迅速かつ的確に対応する行政運営が求められると考える。

人口減少を見据えたまちづくりを推進するにあたっては、地域におけるさまざまな人々の活躍があってこそ成しえるものであり、特に女性のまちづくり等への積極的な参画は不可欠であると考えている。

また、本市におけるスポーツの持つ多様な意義を踏まえ、健康とスポーツを軸としたスポーツ先進都市の実現に向けた取組は、健康の増進のみならず地域の人々の連携に繋がるものであり非常に特筆すべき事項であると考えている。

それら本市を取り巻く背景や本市の特色ある事項を十分に考慮され、新たな本市まちづくりの行政運営の指針となる「総合計画」の策定を望むものである。



本会議場